

人軍で現在スチールエンジ(株)会長の阿野鉦二氏による「勝利の方程式」と題する特別記念講演が行われた。同氏は巨人軍時代の長嶋監督や王監督とのエピソードや巨人軍の選手としての経験、コーチ時代の経験などを面白おかしく紹介し、会社経営に活かすべき心構えなどを詳しく解説した。

その後、会場を移して懇親会が催された。会の冒頭に中坂会長が挨拶に立ち、「お陰様で当工法も二回目の審査証明を取得することが出来た。これも本日お集まりの先生方のご尽力の賜物と深く感謝しております。当工法は施工実績を大幅に拡大できるような工法ではないが、地道に確実にコツコツと実績を重ねていき、タイルの浮きにはタイルフィックスと呼ばれるような工法へと成長させていきたい」と語った。

また、同会顧問で(株)難波建築研究室の難波蓮太郎氏が挨拶。その後、メーカーを代表して(株)東邦建材代表取締役の野口貴由社長が挨拶した。野口社長は「昨年逝去した前社長である野口博司が念願である当会を立ちあげ、今回で四回目の総会となる。彼がいなければ同工法はなく、当会も存在しなかった。その思いを引き継ぎ、今後も会の発展のために尽力していく所存である」と、今後の抱負を述べた。

会は、来賓代表として芝浦工業大学教授で日本建築仕上学会会長である本橋健二氏の挨拶の後、今年4月に千葉工業大学を定年退職した池永博威氏の乾杯で款談へと移り、盛会裡に散会した。

地道な実績を重ねて 工法を育てていきたい

タイルフィックス工業会



▲挨拶する中坂会長

タイルフィックス工業会(中坂勇二会長)は5月24日、東京・千代田区のホテルグランドパレスにおいて、第4回定時総会および特別講演会、懇親会を開催した。

総会の議案審議では、平成24年度事業報告ならびに収支決算報告承認の件、平成25年度事業計画(案)ならびに収支予算(案)の審議が行われ、原案通り可決成立した。平成25年度事業計画では、施工技術講習会の開催及び技術指導や新技術・施工技術に関する研究開発、工法拡販の推進、広報宣伝活動などが盛り込まれた。

また、総会終了後には、元・読売巨